

(工学研究科)
公益財団法人帝人奨学会
2020 年度帝人久村奨学生募集

R2.2.12

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- ① 2019 年 10 月に入学、または 2020 年 4 月に博士前期課程(医学・薬学系、バイオ学系、理工学系、工学系、情報科学系等を専攻)に進学することが決定している、または見込まれている者。
- ② 私費外国人留学生(在留資格「留学」)である者。

2 援助の金額、援助の期間

月額: 5 万円(給付)

期間: 2020 年 4 月から正規の博士前期課程修了月まで

3 推薦人員

工学研究科から1名推薦、その後大学全体の選考を経て、大学から1名が推薦される。

4 提出書類

- ① 志願者調書(所定用紙):写真貼付、本人自筆により作成のこと(英語可)
- ② 学業成績証明書:現課程および学士課程のもの
※現課程のものが提出できない場合は学士課程のもののみで可。
※別紙の成績評価係数方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆で記入すること
- ③ 個人情報の取り扱いに関する同意書(所定用紙)
- ④ 在学証明書(2019 年 10 月入学者)
※ 2020 年 4 月入学予定者は、入学許可書等の入学の内定を証明できる書類
- ⑤ 健康診断書(原本、過去 12 ヶ月以内に受診したもの)(日本語)
※ 学内で受けた場合、必ず「健康診断証明書」を発行すること。
※ 学内で受けたものが発行できない場合は一般病院で受診すること。
- ⑥ 現在の研究活動の概要
※ A4 用紙 2~3 枚に簡潔にまとめたもの 1 部(英語可)
- ⑦ 在留カード(両面)の写し
- ⑧ 経済状況調書(2020 年 2 月現在で作成のこと)
- ⑨ 私費外国人留学生身上書(所定用紙)
- ⑩ 家計状況申告書(所定用紙)
※ 9)~10)は、2019 年 10 月以降に他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。
- ⑪ 推薦調書(所定用紙)
※ 指導教員により作成のこと。
※ 工学研究科から推薦が決まった後に提出する。

①、③、⑪の所定用紙は、下記財団 HP からダウンロード可能
(<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>)

6 申請書類提出先:工学部・工学研究科教務課国際交流係

7 締切日:令和2年 2月20日(木)

※既に併給不可の他奨学金に受給が決定している者、および申請中の者(直接応募含む)は推薦対象外です。

帝人久村

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

奨学生募集

Teijin Kumura Scholarship

熱意をもって研究に取り組む大学院生を応援します！

本奨学金の 特色

- 修士は8万円／月、博士は10万円／月を貸与します(無利子)。
- 外国人留学生の場合は、修士5万円／月、博士6万円／月を給付します。
- 修士課程の帝人久村奨学生は博士課程の選考が一部免除となります。(給付は対象外)
- 卒業後の進路によって、**返還免除制度**があります。
- 本奨学金は経済的困窮度よりも、**成績や研究に対する熱意・取り組み内容を重視**します。
- 他奨学金との併給も可能です。
- 在学中に海外へ留学する場合も貸与・給付を継続します。

応募締切

2020 年度修士課程

2020 年 **3月13日(金)**
必着

※2021 年度博士課程は
2020 年8月～9月に
募集する予定です。

対象者

- 医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している方
- 2019 年秋(9月、10月)または
2020 年4月に修士課程に進学することが決定している、または見込まれている方

募集要項等詳細は、各大学の奨学金窓口もしくは公益財団法人帝人奨学会までお気軽にお問い合わせ下さい。

若き科学技術者の育成を行う

公益財団法人 帝人奨学会

<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

03-3506-4424

kumura@teijin.co.jp

帝人 奨学会



※フリーメールアドレスを使用される場合は、HP のお問い合わせページからご連絡ください。



第68回 (2020年度)
帝人久村奨学生 募集要項 [修士課程]

2020

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

本奨学金の特色

- 1) 修士課程8万円／月を貸与（他奨学金との併給が可能）
外国人留学生の場合は、5万円／月を給付。
- 2) 卒業後、帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。
- 3) 修士課程の帝人久村奨学生が引き続き博士課程でも帝人久村奨学金の貸与を希望する場合は、選考過程の一部が免除となります。（給付は対象外）
- 4) 本奨学金は、経済的困窮度よりも、成績や研究に対する熱意・取り組み内容を重視します。
- 5) 本奨学金を受給したことによる帝人グループ各社への入社等その他の付帯義務はありません。
- 6) 在学中に海外へ留学する場合は、正規の修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

募集要項

1. 応募資格

医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している学生で次の条件に該当し、学部長又は学科主任教授の推薦を受け、かつ学校推薦を受けた者。

●2019年秋（9月、10月）または2020年4月に国内大学の修士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生（外国人留学生も可）

- *現在在学している大学から、他の大学院へ進学する場合は原則として現在の大学から応募してください。
- *外国人留学生の場合は、留学予定先の国内大学から応募してください。

2. 採用人員

10 名程度（1 名程度を外国人留学生（給付）とする）

3. 採用基準

本奨学金では、経済的困窮度よりも、成績や研究に対する熱意・取り組み内容を重視して選考します。

4. 選考方法

（1）第1次選考
書類選考

（2）第2次選考

第1次選考合格者に対して、次の系列毎の専門面接により選考します。

- 医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境等）
- 理学系（化学、物理、材料等）
- 工学系（電気・電子工学、機械、建築等）
- 情報学系（情報システム、電子システム等）

（3）最終選考

第2次選考合格者に対して、当会選考委員による面接を実施し、奨学生を決定します。

5. 選考スケジュール

（1）修士課程進学予定者（学部生）

選考方法	日程	場所
2次面接	4月下旬～5月中旬に実施	帝人（株）東京本社内
最終面接	6月3日（水）に実施	帝人（株）東京本社内

※選考日時・場所等の詳細については、受験者宛に別途ご案内します。
※面接時の交通費は国内移動分のみ全額支給します。

（2）2021 年度博士課程進学予定者（修士生）については2020 年 8 ～ 9 月頃に募集致します。

6. 提出書類（応募書類は当会HPからダウンロード可）

- （1）公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生志願者調査（所定用紙、写真貼付）：志願者本人が作成するもの。
- （2）公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生推薦調査（所定用紙）：指導教授に作成いただくもの。
- （3）学業成績証明書（直近のもの）
- （4）健康診断書（過去12ヶ月以内のもの）
- （5）現在の研究概要をA4 判 2～3 枚に簡潔にまとめたもの 1 部

- （6）個人情報の取扱いに関する同意書（所定用紙）：志願者本人が自署したもの。
- （7）在留資格認定証明書（在留カード等）※外国人留学生のみ

7. 提出締切日

2020年3月13日（金）必着

8. 最終合否の決定

2020年6月下旬までに合否結果を文書で連絡します。

9. 奨学金の取扱い概要

（1）貸与または給付期間

2020年4月から正規の修士課程修了月までとします。
※在学中に海外留学する場合は、正規の修士課程修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

（2）奨学金貸与額または給付額

①貸与額

2020年度募集 80,000円/月（修士課程）

②給付額（外国人留学生）

2020年度募集 50,000円/月（修士課程）

※本誌第1項応募資格で規定する資格保有者で且つ日本国への外国人留学生は「給付」とします。尚、当会が定める外国人留学生とは、出入国管理及び難民法における「留学」に該当する者を指します。

（3）貸与または給付開始月

2020年4月から開始

※2019 年秋（9 月、10 月）入学者も同様です。

（4）貸与または給付方法

奨学生指定の金融機関の個人口座に偶数月初旬に貸与額の2ヶ月分を振込みます。

（5）貸与金の返還

ア. 当会指定の大学や研究機関等（独立行政法人日本学生支援機構が指定した機関に準じます）で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還を免除します。※所定期間：貸与期間の2倍の期間

イ. 上記ア. 以外の場合には、貸与期間終了6ヶ月後から奨学金貸与月数の5倍の期間以内に半年賦で返還いただきます。但し、貸与金は無利子とします。

（6）その他

- ア. 他の奨学金との併給が可能です。
- イ. 帝人グループへの入社等その他の付帯義務はありません。
- ウ. HP に掲載されている先輩帝人奨学生からのメッセージや FAQ もぜひご覧いただき、応募の参考としてください。

公益財団法人帝人奨学会概要



帝人(佛)創業者
久村 清太氏
(1880-1951)

公益財団法人帝人奨学会は、1953年6月の帝人株式会社創立35周年を記念した「帝人奨学会久村奨学生制度」を端緒として発足しました。翌1954年、この制度の一層の発展を期すため、奨学金事業を主事業として、財団法人帝人奨学会を設立しました。その後2011年に内閣総理大臣の認可を得て「公益財団法人帝人奨学会」に改組し今日に至っております。

帝人奨学会の目的は、人造絹糸(レーヨン)の製造技術を独自に確立し、「日本化繊工業の父」と呼ばれた久村清太氏の功績を讃えて、独創的な研究開発の精神を継承発展させるとともに、国家・社会の発展と文化創造に貢献する「若き科学技術者を育成する」ことにあります。

創立以来この制度を貫く本質的な精神は変わっておりません。本制度は一企業のためではなく、国家社会の発展を担う人材育成を主眼にしております。このため、卒業後、大学や公的な研究機関で研究に従事する場合は、奨学金の返還を免除しています。また、将来の科学技術を担う研究者を育成するために、経済的な条件等を問わず学業優秀であれば奨学金の貸与を認めております。更に、本制度は発足以来、帝人株式会社への入社等の義務的拘束は一切設けておらず、公益財団法人の本質を堅持しております。

これまでに、ノーベル化学賞受賞者など1,600名以上の方が大学研究機関や民間企業で活躍されています。

1. 沿革

1953年(昭和28年)6月
帝人株式会社創立35周年事業として、育英制度を設立。
1954年(昭和29年)7月
文部大臣の許可を得て、財団法人帝人奨学会が発足。
2011年(平成23年)10月
内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人へ移行

2. 目的

科学技術者としての自己の使命を自覚し、国家・社会の発展と文化創造の担い手となる人材の育成を目的とする。

3. 帝人久村奨学金及び帝人久村奨学生命名の由来

日本で初めて化学繊維(レーヨン)の製造技術を確立し、その後の化繊工業の発展の礎を築いた、久村清太氏の功績を讃え、その偉業を永く後世に伝えるため、当会の奨学金を「久村奨学金」及び奨学生を「久村奨学生」と命名し、50周年を機に「帝人久村奨学生」、「帝人久村奨学金」と改めました。

4. 事業内容

技術系大学院生に対する帝人久村奨学金の貸与・給付。

5. 奨学生の実績

累計奨学生数：第1回(1953年)より第67回(2019年)
までの帝人久村奨学生1,651名

6. 役員 <50音順>

理事長

鈴木 純(帝人株式会社)

理事

太田 茂(広島大学名誉教授)

太田 治彦(九州大学名誉教授)

(選考委員兼務)

加藤 直樹(京都大学名誉教授)

(選考委員兼務)

監事

嶋井 正典(帝人株式会社)

高原 淳(九州大学先端物質化学研究所 教授)

評議員

岩澤 伸治(東京工業大学大学院教授)

梅谷 博之(帝人株式会社)

澤本 光男(京都大学名誉教授)

庭野 道夫(東北大学名誉教授)

選考委員

片岡 一則(東京大学名誉教授)

唐澤 利武(帝人株式会社)

小林 資正(大阪大学名誉教授)

間狩 泰三(帝人株式会社)

(2020年1月1日現在)

『若者よ海外へ出よ!』

～ノーベル化学賞 受賞(2010年)米パデュー大学 根岸 英一 特別教授からのメッセージ～

1958年に私が帝人に入社したころ、当時の大屋晋三社長は「若者よ海外へ出ろ。10年に1ヶ国語ずつ学べば、30年で3ヶ国語が話せるようになる。そうすれば君たちも世界で通用するようになる」と仰っていました。私がこのような道を歩むことができた原点は、この大屋社長の言葉にあります。

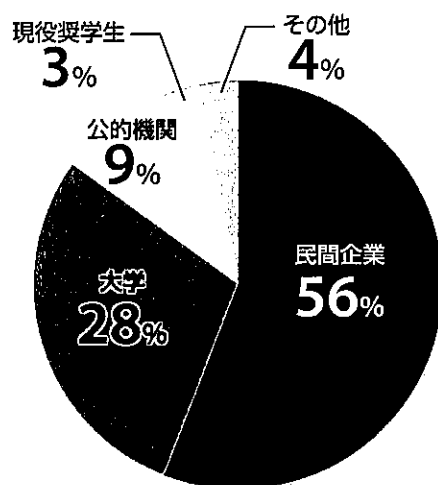
私の専門である化学のコンペティション(競争)の場は世界であり、いまや我々のプレーグラウンドは世界です。また学ぶための師も世界単位で探し、世界の競争の中でトップになることを目指す時代です。そういう意味で、皆さんのような若者には、積極的に海外へ出て頂きたいと思います。

そして自らの「夢」を見つけたら真理を突き詰めるまで、とことんチャレンジしてください。今後の皆さんの大いなる活躍に期待しています。



米パデュー大学
根岸 英一特別教授
(帝人グループ名誉フェロー)
帝人久村奨学生第5回生(1957年)

帝人久村奨学生データ



帝人久村奨学生総数 **1,651**名

現役帝人久村奨学生 **45**名

(2019年8月1日時点)

帝人グループについて

帝人グループは、2018年に創立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しました。

1918年に日本初のレーヨンメーカーとして発足し、ここに至るまで絶え間なく企業変革を重ね、現在は「マテリアル」「ヘルスケア」「IT」という3つの異なる事業領域を併せ持つユニークな企業体となっています。そして、帝人グループはグループの礎である企業理念のもと、ブランドステートメント“Human Chemistry, Human Solutions”に込めたステークホルダーへの約束を実践し、「未来の社会を支える会社」になることを目指しています。

未来の社会は、テクノロジーの進化により、これまでにない速さで変容していきます。帝人グループはそれを先取りし、「人を中心に化学を考える企業」として、物質や素材だけの化学にとどまらず、社会の進化をもたらすソリューションを提供する変革者でありたいと考えています。そのため、既存事業の技術やノウハウなどを承継しつつ、それらの融合を通じて新たな強みを発揮する事業ポートフォリオへと変革を進めています。そして、将来はマテリアル事業とヘルスケア事業を2つの大きな柱とし、ICT技術基盤がそれらを支える企業体へと変容して、新しい高収益事業を核とした持続的な成長の実現を目指します。

帝人グループには、100年前の創立当初から脈々と受け継いできたチャレンジングなDNAが備わっています。そして、幾度もの企業変革を繰り返して今日まで成長してきました。帝人グループは、これからも将来のあるべき姿に向かってたゆまぬ変革と挑戦を続け、社員と共に成長しながら、新たな価値の創造を積み重ねることで、人々の「Quality of Life」の向上に貢献していきます。

帝人株式会社概要

創 立 …… 1918年6月
代 表 者 …… 代表取締役社長執行役員 鈴木 純
資 本 金 …… 718億円 (2019年3月)
売 上 高 …… 連結：8,886億円 (2019年3月)
営 業 利 益 …… 連結：600億円 (2019年3月)
従 業 員 数 …… 連結：20,671名 (2019年3月)
主要事業内容 …… マテリアル事業、ヘルスケア事業、IT事業

URL: <http://www.teijin.co.jp/>

HPのQRコードは
こちら



公益財団法人帝人奨学会

応募書類送付先及びお問い合わせ先

公益財団法人帝人奨学会 (帝人株式会社 人事部内)

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1

TEL: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp

<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

※フリーメールアドレスを使用されている場合は、HPのお問い合わせページからご連絡ください。



68th

Teijin Kumura Scholar Application Guide (Master's Course)

2020

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

Feature of this scholarship

- a) Japanese students: ¥80,000/month(Master's Course)
you can receive other Scholarship.
- b) Non-Japanese students: ¥50,000/month(Master's Course)
No need Scholarship repayments for foreign students.
- c) Teijin Kumura Scholarship Students in a master's course who wish to continue to receive Teijin Kumura Scholarship to be lent in a doctor's course, as well, will be exempted from a part of the screening process.
(No exemption for granting.)
- d) We select a Scholarship student with grade and research level.
- e) Not obligated to join Teijin Limited.
- f) If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period.

Teijin Scholarship Foundation

Application Guide

1. Qualification Requirements

- (1) The applicant must be a student in a medical /pharmaceutical / bioscience,science,engineering or information science related course at a domestic university.
- (2) Fulfill the following conditions, receive the recommendation of a faculty head or senior faculty professor and the recommendation of a school.
- (3) Students who have decided to study in a Master's course from September/October 2019 or April 2020. (Foreign students may also apply.)

* When you will transfer to another university, please apply from the domestic university that you currently belong to.

2. Number of Scholarship Recipients

Master's course: 10

* Among these, about one person is a foreign student.

3. Selection Criteria

We select a scholarship student with grade and research level.

4. Selection Method

- (1) Preliminary selection
Screening of application materials
- (2) Secondary selection
Applicants who pass the preliminary selection will be screened in specialized interview.
 - Medical / pharmaceutical / Bioscience
(Medical, Pharmaceutical, biology, environmental science, etc)
 - Science (chemistry, physics, material, science, etc)
 - Engineering (electrical/ electronic engineering, machine engineering, architecture, etc)
 - Information science (information systems, electronic systems, etc)
- (3) Final selection
The foundation's selection committee will interview applicants who pass the secondary selection to determine the scholarship recipients.

5. Selection Schedule

Selection method	Schedule	Location
Secondary selection	Late-April-Mid-May	Teijin Limited (Tokyo HQ)
Final selection	June 3rd	Teijin Limited (Tokyo HQ)

*Details of selection dates and locations, etc, will be announced separately to applicants.

*Travel expenses for interviews will be fully reimbursed only for domestic transportation in Japan.

* Students who are planning to study in a Doctor's course will be received in August-September 2020.

6. Documents Submitted (Application form can be download from Our Website)

- (1) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Applicant's Statement (Use the designated form; attach a photograph): Submit a form signed by the applicant in person

- (2) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Recommendation Statement (Use the designated form): Submit a form created by the supervising professor
- (3) Evidence of academic achievements (Latest copy)
- (4) 1 copy of a concise summary of 2-3 A4 pages of your current research brief
- (5) Written consent for the handling of personal information (Use the designated form): Submit a form signed by the applicant in person
- (6) Health certificate (The past less than 12 months)
- (7) Certificate of Eligibility (only foreign students)

7. Deadline for Application

Application submission should reach by March 13th, 2020 (Fri).

8. Final Decision

The written notice of results for the Final selection process will be sent by End of June 2020.

9. Overview of Scholarship Handling

- (1) Loan period
The loan period is the regular period from April 2020 to the completion of the Master's course.
* If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period of Master's course.
- (2) Value of scholarship and scholarship loan
 - ① Value of scholarship (foreign students)
The 2020 fiscal year ¥50,000/month
(No need Scholarship repayments for foreign students)
 - ② Value of scholarship loan
The 2020 fiscal year ¥80,000/month
- (3) Commencement of loan
From April 2020
* The 2019 fall-admissions person is also the same.
- (4) Loan method
The scholarship loan for 2-months is transferred into the scholarship recipient's personal account at a financial institution at the start of each even-numbered month.
- (5) Loan repayments

a) Scholarship recipients are excused from repayment if they engage in scientific research activities for a designated period at a university research organization, where designated by the foundation (corresponding to the organizations designated by Japan Student Services Organization).

b) In cases other than those described in a) above, the loan is to be repaid in half-yearly installments in a period less than 5 times the number of months of the scholarship loan period, it starting from 6 months after the completion of the loan period. However, the loan is interest free.

- (6) Other
 - a) We accept that you receive other scholarship.
 - b) Not obligated to join Teijin Limited.

Overview of the Teijin Scholarship Foundation



Teijin Ltd. Founder.
Seita Kumura
(1880-1951)

The Teijin Kumura Scholarship system was started to commemorate the 35th anniversary of Teijin Limited's founding in 1953 and to honor the achievements of Seita Kumura, who established rayon manufacturing technology in its own right and is known as the "father of the Japanese rayon industry". The purpose of this Scholarship system is to cultivate young engineers and scientists who would succeed to and develop Mr. Kumura's spirit of creative R&D and contribute to the development of our nation and society and the creation of culture. In July 1954, the company established the foundation "the Teijin Scholarship Foundation" for the scholarship system in order for the further development of the system. With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister in October 2011.

The essential spirit that has permeated the system since its establishment has not changed. The system is not run for the sake of one company and takes as its central aim the cultivation of the human resources that will be responsible for the development of national society.

Because of this aim, recipients of scholarship loans are excused from repayment if they are involved in research at a university or public laboratory after graduation. In addition, scholarship loans are recognized if an applicant has done well at school, irrespective of economic conditions, etc., in order to cultivate the researchers who will be responsible for the science and technology of the future.

Furthermore, since its founding, this system has never set mandatory restraints and has firmly maintained the essential qualities of the foundation. Until this point, about 1,600 people have been active in university research organizations and private companies.

1. History

June 1953

Teijin Limited established an educational scholarship system as a project to commemorate the 35th anniversary of the establishment of the company.

July 1954

The Education Minister permitted Teijin Limited to establish the Teijin Scholarship Foundation. The foundation continues to the present day.

October 2011

With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister.

2. Aim

The foundation aims to cultivate human resources who will become aware of their mission as scientists and engineers and be responsible for the development of our nation and society and the creation of culture.

3. The Origins of the Names "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholar"

The scholarship awarded by the foundation was named the "Kumura Scholarship" and the recipients of the scholarship "Kumura Scholars" in order to honor the achievements of Seita Kumura, who was the first person in Japan to establish rayon manufacturing technology and subsequently built the foundations for the development of the rayon industry, and to communicate those achievements eternally to later generations. To mark the 50th anniversary of this scholarship system, they have been renamed the "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholars" respectively.

4. Project Details

Teijin Kumura Scholarship loans are awarded to graduate school students in technology-related disciplines.

5. The total number of scholarship recipients

1,651 Teijin Kumura Scholars from the first year of the program (1953) to the 67th (2019).

6. Executive <Japanese syllabary order>

President

Jun Suzuki (Teijin Limited)

Directors

Shigeru Ohta (Honorary Professor, Hiroshima University)

Haruhiko Ohta (Honorary Professor, Kyushu University)

*Directors and Selection Committee

Naoki Katoh (Honorary Professor, Kyoto University)

*Directors and Selection Committee

Auditors

Masanori Shimai (Teijin Limited)

Atsushi Takahara (Professor, Institute for Materials Chemistry and Engineering, Kyushu University)

Councilors

Nobuharu Iwasawa (Professor, Graduate School of Tokyo Institute of Technology)

Hiroyuki Umetani (Teijin Limited)

Mitsuo Sawamoto (Honorary Professor, Kyoto University)

Michio Niwano (Honorary Professor, Tohoku University)

Selection Committee

Kazunori Kataoka (Honorary Professor, Tokyo University)

Toshitake Karasawa (Teijin Limited)

Motomasa Kobayashi (Honorary Professor, Osaka University)

Taizou Makari (Teijin Limited)

(As of January 2020)

"Young people go overseas!"

~ Message from a Nobel Prize Laureate in Chemistry (2010) Dr. Ei-ichi Negishi ~

When I joined Teijin in 1958, Shinzo Oya the president at that time told, "Young people must go overseas. You will be able to speak three languages in 30 years, if you learn one language in 10 years. Then you will become world-class talent." The starting point that I was able to walk on such a way is in the word of President Oya.

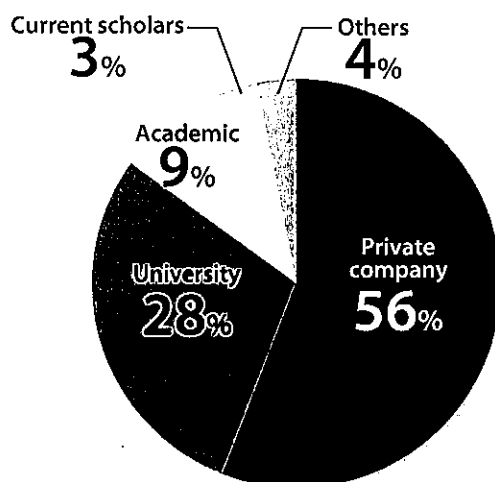
In the field of chemistry, the competition is worldwide, and our playground has extended across the world. Now, you have to look for the professor from the world and aim for the top in the worldwide competition. For the young people like you, I suggest you to go overseas aggressively.

When you find your own "Dream", please challenge it thoroughly until the truth is investigated. I look forward to your great success in the future.



Purdue University
Distinguished Professor
Mr. Ei-ichi Negishi
(Teijin Group Distinguished Fellow)
5th year Teijin Kumura scholarship (1957)

TeijinKumura Scholar Data



Total number of Teijin kumura Scholars **1,651**

Current Teijin kumura Scholars **45**

(As of August 2019)

About Teijin Group

The Teijin Group celebrated its 100th anniversary in 2018, and is now taking a new step into its next century. Since the establishment in 1918 as Japan's first rayon manufacturer, the Teijin Group has ceaselessly transformed and grown into a unique enterprise that combines three different business domains of materials, healthcare and IT. Guided by our underlying corporate philosophy and while keeping our promise to stakeholders expressed as our brand statement "Human Chemistry, Human Solutions" we are aiming to be a company that supports the society of the future.

With the evolution of technology, future society will transform with unprecedented speed. As a company that thinks about chemistry and also puts people first in our thinking, we seek to anticipate this change and become an innovator that goes beyond chemistry based on substances and materials, but also provides solutions that encourage the evolution of society. To accomplish this, we are adopting a business portfolio that leverages the technology and know-how of our existing business, while also demonstrating new strengths through their integration. We will transform into a company based on the two pillars of the materials business field and healthcare business field supported by a base of ICT technology, and aim for sustainable growth centered around highly profitable new business.

A spirit of venture has been strongly rooted in the DNA of the Teijin Group ever since our founding 100 years ago, and we have grown by repeatedly undertaking corporate reform. We are working towards our future vision by pursuing ceaseless evolution and ambition, and striving to enhance the quality of life everywhere by steadily creating new value as we empower our people.

Overview of Teijin Limited

Established	June 1918
Representative	Jun Suzuki, President and CEO
Capital	71.8 billion yen (March 2019)
Sales	Consolidated: 888.6 billion yen (March 2019)
Operating profit	Consolidated: 60.0 billion yen (March 2019)
Number of employees	Consolidated: 20,671 (March 2019)
Description of main business	Materials business, Healthcare business, IT

URL: <http://www.teijin.co.jp/>

HP QR Code



Teijin Scholarship Foundation

Direct scholarship application documents and inquiries to:
Teijin Scholarship Foundation
(Human Resources Department, Teijin Limited)

2-1, Kasumigaseki 3-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8585

Tel: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp

<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

*When using free email addresses, contact us via the inquiry page on our website.

公益財団法人帝人奨学会 帝人久村奨学生志願者調書

受験専門科目 ※いずれかの番号に丸を付けて下さい。	記入日	年	月	日
①医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境 等） ③工学系（電気・電子工学、機械、建築 等） ②理学系（化学、物理、材料 等） ④情報学系（情報システム、電子システム 等）				

「記入上の注意事項」

- 記載事項に事実と相違する事がある場合は、奨学生としての採用を取り消すことがあります。
- 年号は、西暦で記入して下さい。
- Eメールアドレスは明確にご記入下さい。（ハイフン、アンダーバー、数字の0（ゼロ）、アルファベットのO（オー）等）

フリガナ					写真貼付 縦 4cm 横 3cm
氏 名					
生年月日		年 月 日 (満 歳)			
フリガナ					
現住所		〒 () 都 道 府 県 自宅・寮・下宿 TEL 携帯 e-mail : ※必須 ※フリーメールアドレス以外			
研究室住所		〒 () TEL			
学 歴	高校・大学・大学院		学部・学科・専攻		入学 卒業 修了予定月日
	高等学校				年 4月入学～ 年 3月卒業
					年 月 ～ 年 月
					年 月 ～ 年 月
					年 月 ～ 年 月 修了 月 予定
進学予定大学院 及び指導教授		大学大学院 研究科 専攻 指導教授：			
研究テーマ 及び指導教授		テーマ： (学部-指導教官： 教授 准教授)			
		テーマ： (修士-指導教官： 教授 准教授)			
自己 評価	語学	読解力	作文力	会話力	自分の性格行動の特徴
	英 語	A B C	A B C	A B C	
	語	A B C	A B C	A B C	
	TOEIC	点 (年 月)			
クラブ・サークル歴					

氏 名					記入年月日	年 月 日	
現在の研究活動の概要：（２次面接用にＡ４版サイズで２～３枚のシート（文字サイズは１１ポイント以上、カラー不可）に研究活動をまとめて１部添付して下さい）							
論文投稿件数		学会発表件数		特許申請件数			
国内－ 件	海外－ 件	国内－ 件	海外－ 件	国内－ 件	海外－ 件		
研究技術者としての将来の抱負及び修士又は博士終了後の人生設計							
帝人久村奨学金を必要とする理由							
奨学金受給・申請状況	団体名			奨学金額（月額）		併給可否	
現在受給している奨学金 （帝人久村奨学金を含む）						はい ・ いいえ	
今後受給が確定している奨学金						はい ・ いいえ	
受給申請中もしくは、 申請予定の奨学金						はい ・ いいえ	
日本学術振興会の特別研究員（DC1）に申請していますか？ ※博士課程奨学金に応募する方のみご回答ください。							
はい ・ いいえ							

公益財団法人帝人奨学会 帝人久村奨学生推薦調書(修士課程)

年 月 日記入

志願者氏名			
大学名	大学		学部
	学科		
大学院名 (進学予定先)	大学大学院		研究科
	専攻		
現在研究している テーマ			
研究技術者としての将来への期待：(将来の進路)			
帝人久村奨学生として推薦する理由：			
総合 評価	以上を総合評価して 最優秀 優秀 優 であると評価する。		
以上の通り帝人久村奨学生として相応しい人物として認め推薦いたします。 <div style="text-align: right;"> 年 月 日 大学 学部 (指導教授氏名) 印 </div>			

個人情報の取り扱いについて

公益財団法人帝人奨学会
事務局長

この書面は、このたびのご応募に伴い取得することとなる応募者の個人情報の保護と取り扱いに付きまして、個人情報保護法の規定に従いご説明するものです。

1. 個人情報に対する基本姿勢

帝人奨学会は、応募者の個人情報の保護および適切な取り扱いが社会的責務であると考えております。個人情報保護法の趣旨を尊重し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護・管理規定」を定め実行してまいります。

2. 個人情報の定義

個人情報とは、以下のような特定の個人を識別できるものをいいます。

- ①氏名、住所、生年月日、性別、学歴、電話番号、電子メールアドレス、振込口座番号および名義、採点結果
- ②その情報のみでは特定の個人を識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、この照合により特定の個人を識別できることとなる情報
- ③上記の情報のうち1つまたは複数を組み合わせることで応募者を特定できる情報

3. 個人情報の取得、利用および第三者への提供

- ①当奨学会は、奨学生を選考するために必要、かつ選考目的の達成に必要な範囲内で、個人情報を取得します。
- ②応募者の個人情報は、選考目的の達成に必要な範囲内で、当奨学会が利用できるものとします。

4. 応募者の個人情報の利用目的について

- ①当奨学会の選考資料として、利用するため
- ②選考の結果、奨学生に採用された後、人事情報として管理するため
- ③奨学会の振込口座情報を管理するため

5. 個人情報の提出先の範囲

応募者の個人情報は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる第三者にも提供しません。

- ①応募者の同意を得た場合
- ②国の機関若しくは地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。

6. 応募者の個人情報の安全管理措置

- ①当奨学会が保有するデータベースシステムについては、「セキュリティ管理規定」に従い必要なセキュリティ対策を講じます。
- ②当奨学会が、選考目的で利用する場合、関係者には適切な取り扱いおよび保護を行うよう指示・監督をします。

7. 個人情報の削除・消去

応募者を不採用とした場合、確認後6ヶ月以内に応募者の事前・事後の承諾を得ることなく、速やかに応募者の個人情報を安全かつ完全に削除・焼却いたします。

／以上

公益財団法人帝人奨学会 理事長 殿

同 意 書

私は、個人情報保護法および貴奨学会の定める個人情報保護方針に基づき、
選考および採用後、人事情報管理の目的のために、私の個人情報を保有し、
使用することに同意いたします。

年 月 日

署 名

印

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL
氏 名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍	
東 北 大 学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ～ 現在		
		年 月 ～ 年 月		
		年 月 ～ 年 月		
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営アパート(住所)			

2. 家族状況（母国の家族情報を含むこと。）

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

[illegible]

家計状況申告書

在 籍	学部 年 MC 年 、DC 年 、大学院研究生	学籍番号	
氏 名			

家計状況

* **2018年4月から2019年3月までの**あなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2018年10月入学の方は、2018年10月から2019年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り ・ 無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額	円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額	円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額	円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額	円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

Personal Information Form for Privately-Funded International Students

1. Name, Status, etc.

[illegible]

2. Family Information (Include family members in your home country)

If your spouse is a student, state the school, faculty/graduate school and year level.

[illegible]

Statement of Household Finances

Affiliation	Undergraduate (year:) / Master's (year:) / Doctoral (year:) / Grad. Research student	Student ID No.	
Name			

Household Finances

* Please provide information on your average monthly household finances for the period from April 2018 through March 2019.

* If you enrolled in October 2018, please provide information on your average monthly household finances for the period from October 2018 through March 2019.

* Please ensure that the totals for income and expenditure are equal.

INCOME		EXPENSES	
Remittances from family	yen	Tuition	yen
From own savings	yen	Rent	yen
Scholarships	yen	Living Expenses (Food, Utilities etc.)	yen
Other ()	yen	Other ()	yen
TOTAL	yen	TOTAL	yen

Additional Comments (Please fill out below section if there are any financial situations to emphasize.)

Scholarships Received

* Have you received any scholarships to date? YES / NO (circle)

* If YES, please complete the following.

Period received	Amount monthly/yearly (circle)	Name of scholarsip
____ (Month) ____ (Year) to ____ (Month) ____ (Year)	_____ yen monthly/yearly	
____ (Month) ____ (Year) to ____ (Month) ____ (Year)	_____ yen monthly/yearly	
____ (Month) ____ (Year) to ____ (Month) ____ (Year)	_____ yen monthly/yearly	
____ (Month) ____ (Year) to ____ (Month) ____ (Year)	_____ yen monthly/yearly	

Tuition Exemptions (except as a research student)

* Circle where appropriate

2019 Academic Year	Semester 1	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved
	Semester 2	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved
2018 Academic Year	Semester 1	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved
	Semester 2	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved
2017 Academic Year	Semester 1	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved
	Semester 2	Full exemption	Half exemption	Applied but not approved